

年頭のご挨拶

お慶びを申し上げます

上ノ国町長 工藤 昇



町民の皆様、新年あけましておめでとうございます。希望に満ちた輝かしい平成三十年の初春を、ご家族お揃いで健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

私は、「わたしたち町民一人ひとりが現状を自覚し、そして一人ひとりがこの町を変える」という意思を表してくれる」ということを町政執行の基本姿勢とし、行財政の見直しと改革

に議会、町民の皆様と手を携えて渾身の努力をして参りました。

この間、皆様からいただいた深きご理解と、絶大なご協力に對しまして心から感謝申し上げます。

さて、過ぎし平成二十九年を振り返りますと、日本経済は平成二十四年末から景気の回復が始まり、これまでに昭和六十一年の「バブル景気」や昭和四十年の「いざなぎ景気」を超え、

戦後二番目に息の長い好景気となりました。

しかしながら、実質賃金や個人消費の状況からは景気回復を感じられず、特に地方経済は未だ消費低迷の状態にあります。

社会面では、安倍首相が突然衆議院を解散し総選挙が行われ、政府与党が解散時の議席数をほぼ確保する結果となりました。

また、北朝鮮の弾道ミサイル発射実験により、ミサイルが北海道上空を通過したことから全国瞬時警報システム（Jアラート）が作動する事態となりました。

スポーツ面では、大相撲初場所で優勝した稀勢の里関が日本出身力士では十九年ぶりとなる横綱に昇進しました。

また、陸上男子百メートル走では桐生祥秀選手が日本人で初めて九秒台を公式に記録しました。

文化面では、ユネスコ世界遺産の文化遺産として

